

産業建設委員会記録

令和6年12月13日開催

- 1 日 時 令和6年12月13日(金) 9:56~10:42
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 平山委員長 奥田副委員長
横田委員 幸坂委員 住友利広委員 小野委員
西川委員 橋本委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 正副議長 湯浅議長 佐々木副議長
- 6 傍聴議員 渡部議員 藤本議員 住友進一議員 久米議員
広浦議員
- 7 出席理事者 岩佐市長 西田副市長 平井副市長 東條政策監
篠原政策監 吉岡産業部長 柳川建設部長
高山都市整備部長 柏木水道部長 古川農林水産課長
兼任土木課長 北原工事検査課長 清原都市政策課長
安田水道課長 福島農地整備課長 松原下水道課長
清原商工政策課長 是松住宅課長 速川公共建築課長
村田農業委員会事務局長 大川野球のまち推進課長
石本広域連携事業課長 横手秘書広報課長 他
- 8 事務局 佐坂事務局長 近藤議事課長 谷崎課長補佐
平瀬課長補佐
- 9 傍聴者 なし
- 10 記者席 1名

【 会議の概要 】

開 会 9 : 5 6

平山委員長 おはようございます。ただ今から産業建設委員会を開会いたします。委員の皆様のご出席、ありがとうございます。1年間、よろしくお願いいたします。

それでは市長から御挨拶をいただきます。岩佐市長。

岩佐 市長 おはようございます。本日は産業建設委員会を開催をしていただきまして、誠にありがとうございます。また、今議会におきまして新たに選任されました平山委員長さん、また奥田副委員長さんをはじめ、各委員さんにおかれましては、どうぞ十分な御審議を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、本委員会に提案させていただきます案件につきましては、令和6年度一般会計補正予算案1件、牟岐線見能林・阿波橋間戎山都市下水路整備工事の委託に関する変更施行協定の締結についての1件の計2件でございます。詳細につきましては関係課長より御説明申し上げます。以上、御提案申し上げました案件につきまして、御審議のうえ御承認を賜りますようお願いを申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

平山委員長 よろしくお祈いします。本委員会で付託されました案件は、市長提出議案2件であります。議案の審査に入る前にお願いを申し上げます。理事者の方は、自己紹介をしていただきましたら、議案説明は着席して行っていたいで結構です。委員の方は、質疑のある場合は挙手をしていただきますようお願いいたします。

それでは議案審査に入りたいと思います。

第4号議案 令和6年度阿南市一般会計補正予算（第4号）について（関係部分）

平山委員長 初めに『第4号議案 令和6年度阿南市一般会計補正予算（第4号）について』のうち、本委員会に係る部分を議題といたします。第4号議案は全員協議会で説明を受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思います。質疑ありませんか。橋本委員。

橋本 委員 それでは予算ページの23ページ、農業費の農業振興費の有害鳥獣駆除事業についてお伺いいたします。この有害鳥獣事業で449万円の予算をかけておりますけれども、これは鳥獣の種類、それと何頭を想定しての予算でしょうか。教えてください。

平山委員長 古川農林水産課長。

古川 課長 農林水産課の古川でございます。よろしくお願いいたします。橋本委員さんの御質問にお答えいたします。

今回の補正予算につきましては、頭数につきましては、実績に加え、1

0月から3月までの捕獲平均を加えた数値といたしまして、シカが1,383頭、イノシシ529頭、サル130匹を、全体の頭数見込額といたしまして2,729万から本来の既決予算2,280万差し引いた分の予算を449万として計上させていただいたところであります。以上、お答えといたします。

平山委員長 橋本委員。

橋本 委員 ありがとうございます。

このシカとイノシシとサルの種類が有害鳥獣なんですよ。でも、その中で教えてほしいんですけど、タヌキとかハクビシンとかは入らないんですか、有害鳥獣に。

実は、この里地域のほうにはもうハクビシンとかタヌキがよく出て、農産物に被害が出ているんですよ。だから、そういうようなことも含めて有害鳥獣のほうへ認定指定いただいたら。報償費っていうのをどんどんつけていただいて、皆さん、協力していただいて、猟友会の方にも力入れていただいて狩猟していただくのは結構なことなんですよ。

だけれども、そういうふうなことがあって、実績からいうとシカとかそんなことができるのであれば、そのこともできないかっていうことをちょっと教えてほしいんです。これは、私も有害鳥獣のことをよく分かりませんから。

平山委員長 古川農林水産課長。

古川 課長 今回の補正では、農林産物に被害があるというシカ、サル、イノシシを上げさせていただいております。橋本委員さんの御質問のタヌキとかハクビシンとかにつきましては、家庭菜園とかの被害はあるんですけども、農業共済組合に確認をいたしましたところ、そこまで被害は出てないということで、有害鳥獣としての駆除報償対象にはならないということで除けさせていただいております。以上、お答えといたします。

平山委員長 橋本委員。

橋本 委員 ありがとうございます。

じゃあ、これからもこういうふうなことの被害状況が出た場合には、やはり検討するようなかたちの中で話し合いに応じていただけたらと思いますので、要望しておきます。以上です。

平山委員長 ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

平山委員長 質疑なしと認めます。質疑を終結いたします。

これより、第4号議案を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに異議はありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

平山委員長 異議なしと認めます。よって、『第４号議案（令和６年度阿南市一般会計補正予算（第４号）について）』のうち、本委員会に係る部分は原案のとおり可決されました。

質 疑 終 了 ・ 採 決
全 会 一 致 ・ 原案のとおり可決

第１８号議案 牟岐線見能林・阿波橋間戎山都市下水路整備工事の委託に関する
変更施行協定の締結について

平山委員長 次に『第１８号議案 牟岐線見能林・阿波橋間戎山都市下水路整備工事の委託に関する変更施行協定の締結について』を議題といたします。理事者の説明を求めます。松原下水道課長。

【理事者説明 松原 下水道課長】

平山委員長 理事者の説明が終わりましたので質疑に入ります。質疑ありませんか。横田委員。

横田 委員 あなん至誠会の横田でございます。１８号議案について少し教えていただきたいと思うんですが、この事業、始まってからかなり、かなりといっても、数年余ってなると思うんです。そういった中で、見能林地域の浸水被害を減少さす、こういったことで取り組まれておられると思うんですが、この事業やり出して、私ども、近くを通るんですが、その終結っていうんですか、事業の全体から比べて、今、どの程度の進捗状況であるのか。また、いつ頃を目途にして事業が終わる、というような計画になってるんでしょうか。教えていただきたいと思います。

平山委員長 松原下水道課長。

松原 課長 戎山都市下水路整備事業の整備状況についての御質問でございますが、戎山都市下水路整備事業につきましては、昭和５４年に都市計画決定をし、同年３月に事業認可を受けて都市下水路の整備を行っております。現在、計画４路線については既に完成済みであります。残る１路線について鋭意、整備を図っており、５年度末で８０％の整備が完了しているところでございます。

また、今回の工事については昨年、令和５年１０月から工事着工し、本年６月、本年１０月１８日に工事が完了いたしておりますので、本工事については、工事期間については約１年でございました。以上、お答えとさせていただきます。

平山委員長 横田委員。

横田 委員 お聞きしたいのは見能林の青木周辺、また、一中の辺りですか。その辺りを加えて東山というんですか、何ていうんですか。あの辺りの浸水対策がメインになってくると思うんですが、全体的な、市としての対策についての事業というのを考えた場合に、どの程度の事業進捗になってるかつちゅうんが全く分からないんです。計画としてはないんでしょうか。

平山委員長 松原下水道課長。

松原 課長 都市下水路整備の全体計画についての御質問でございますが、本市の都市下水路整備事業というのは昭和37年の富岡都市下水路の工事着手で始まって、福村東、福村西、西路見、橘町幸野などで整備を進めてまいりました。現在においては打樋川下流域における浸水被害の軽減を図るため、先ほど申し上げました、昭和54年から戎山排水区、それと戎山排水区の東側に隣接する津乃峰町東分、こちらのほうでは平成17年から長浜排水区で都市下水路の整備に鋭意取り組んでいるところでございます。現在、認可を得ているのはこの2地区でございます。以上、お答えとさせていただきます。

平山委員長 横田委員。

横田 委員 現在のところは、状況は大体分かりますけど、全体的な地域としての、市としての計画というものはないんでしょうかね。

平山委員長 松原下水道課長。

松原 課長 都市下水路事業につきましては、都市計画区域内の市街化区域内、もしくは人口密集地域において実施されることが原則となっております。都市下水道事業の都市下水路として事業認可を受けることによって、都市下水路として国費の支援を受けて実施することができるものでございますが、国の事業の交付対象となるには、一つ目が浸水面積が50ヘクタール以上、二つ目として、浸水指数5,000以上の区域を排水するもの。浸水指数とは、浸水戸数掛ける浸水回数掛ける浸水時間が5,000以上になること。三つ目として、全体事業費が3億円以上であること。この条件の全てに該当することとされております。これにより、浸水実績のある地区で現在、都市下水路整備が実施されているところでございますが、浸水の恐れや浸水の可能性、浸水の未然防止のための整備は国庫補助の対象とはなっておりませんので、御理解を賜りたいと思います。以上、お答えとさせていただきます。

横田 委員 大体分かりました。ありがとうございました。

平山委員長 ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

平山委員長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。
これより、第18号議案を採決いたします。本件を原案のとおり可決することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

平山委員長 御異議なしと認めます。よって、『第18号議案 牟岐線見能林・阿波橋間戎山都市下水路整備工事の委託に関する変更施行協定の締結について』は原案のとおり可決されました。

質 疑 終 了 ・ 採 決
全 会 一 致 ・ 原案のとおり可決

平山委員長 以上で、本委員会に付託されました議案の審査が終了いたしました。
ここで小休いたします。

小 休 10:17～10:18

平山委員長 再開いたします。

一 般 質 問

平山委員長 これより本委員会の所管に係る一般質問をお受けしたいと思います。通告がございますので、順番に質問をお願いしたいと思います。まず初めに住友委員。

住友利広委員 私のほうからは一応、通告はさせていただきました。どういうことかという、もう数年来、いろいろと問題っていうんですかね、かもうだ温泉、このことについて少しお聞きをしたいと思っておるわけでございます。

御存じのとおり、かもうだ温泉に、かもうだか、かもうだか分かりませんが、私はかもうだといわせていただいております。かもうだ温泉につきましては、今まで代々の先輩議員さんから、経営で経費がかかっておると、たくさんかかっておって、資料もあるんですが、まず、今、どれくらいの経費がかかって、どれくらいの収入があるのかということ、1問目で確認をしたいと思います。

平山委員長 清原商工政策課長。

清原 課長 商工政策課の清原です。よろしくお願いします。
かもだ岬温泉の収入と支出ですが、令和5年度では歳入合計が1,219万9,000円、歳出が4,645万4,000円でございます。以上、御答弁とさせていただきます。

平山委員長 住友委員。

住友利広委員 聞いたことだけお答えするんやな、分かりました。

それではそういうことで、ちょっと私事でなるんですが、2問目ね。実はここに資料がございまして、平成13年からありました。ずっと、その資料の中には収支の状況が書かれておるわけございまして、先ほど令和5年度は収入が、千円単位、1,219万9,000円、支出合計が4,645万4,000円。収支の差引がマイナスの3,425万5,000円、こういうことでなっております、この10年来、10年来っていうか今までの累積が9,604万円ほど、約1億ぐらいですね、大体毎年3,400万ぐらいの赤が出ておるんですね。

そこで、私は今回、重要施策、市長さんが重要施策というのを、項目を14項目から75に増やした。なぜ増やしたのか、阿南の今後の安定のため、幸せのためにいろんな事業をしていきましょうよ。その中には財政的に健全な市政をつくるために、いろんな施策をやっつけようということで、前向きな取り組みをされました。14項目から75項目に増やされたということは、いろんな思いがあって、いろんなところで阿南市のためにこうしたらええ、ああしたらええと、それぞれの施策、考えられたと思うんです。そこで、こういうふうな今の現状、私は阿南市は豊かでお金は何ぼでもあるんだと、このように思っておりましたけれども、最近の報道によりますと大変厳しい状態が続いているように思われます。今回の一般質問においても、状況把握がよく分かったと思っておるわけなんです、やはり足かせなっているこういう事業ですね。そういうのを今後、市行政として、いろんな項目があるんですね、不要な補助金の廃止とか、詳しいことはまだ報告されておられませんので分かりませんが、新聞等々で読ませていただきますと、いろんな改革案、それからしなければいけないことが書かれております。

がもうだにつきましても、今、おっしゃられたように、赤字が続いておる中で、この先もどういう方針でこのがもうだ温泉を考えておられるのか。2点目、方向性をお伺いしたいと思います。

平山委員長 清原商工政策課長。

清原 課長 温泉の今後ということですが、温泉の施設の経営状況につきましては長年の懸案事項であり、さまざまな御意見があることは十分承知しておりますが、現在、温泉の存続に向け、温泉も含めた周辺一帯の魅力度向上に向けて取り組んでいるところでございます。

また、今年度、本市の民間提案制度を活用し、施設の有効活用等について民間のアイデアやノウハウを活用した提案の募集を行ったところ、1件の御提案をいただいております。今後、今月中を目途に提案審査を行い、提案が採択に至った場合には、提案者と協定を締結したうえで、事業実施に向けた詳細協議を重ねることとなっております。その後、事業化の決定、契約締結、事業実施という流れとなりますので、まずはいただいた提案内容についてしっかりと精査してまいりたいと考えております。以上、御答弁いたします。

平山委員長 住友委員。

住友利広委員 ありがとうございました。

今の阿南市の状況を、大体、全般的に考えさせていただきますと、やはり、私からこうするんじゃないに、今、提案があったということでございまして、行革の中で結論を出されると。今後、どういう方向性でいかれるのかということを、また審議会等でも報告をされることだろうと思います。

私は、個人ごとをここでいわせていただきますけれども、阿南市にも一つぐらいは市の福利厚生、市民のための、こういうんはいくら赤字があっても残されたほうがいいんでないかと、前は考えておりました。せっかく先代さんが一生懸命、福祉の面で温泉を掘られて、苦勞して、温泉施設を阿南市に一つ造られた。このことは大切にしたい、そう思っておるわけでございますので、残してほしいなと思った。だから、今、提案されておるということでございますので、いい方向に進められておるんでないかなと思います。

しかし、今の全体的なことを見ますと、やっぱし切るべきところはしっかりと切っていく。この改革プラン、これ見てみますと、一般の方が、市民の方が「いや、これって私ら、これ、補助金切られるんでないかな」、「これはどうなっとんだろな」という心配ごとが、私の耳にも入ってきます。しかしながら、こういう改革プランをたてた以上は、しっかりと初心に帰られて、それで、やるべきことはきっちりやっていただくようお願いをいたしまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

平山委員長 橋本委員。

橋本 委員 私のほうからは阿南ジビエ処理加工施設についてお伺いいたします。まず運営状況。それと今後、阿南市南部の処理場の建設は考えておられるのかどうか。その2点お願いします。

平山委員長 古川農林水産課長。

古川 課長 農林水産課の古川でございます。よろしくお願いします。

ジビエ処理施設の稼働状況、また他の場所への建設を考えているかとの御質問でございますが、現在、加茂谷地区にあるジビエ処理加工施設は市内全域の捕獲鳥獣を有効に活用する施設として、国の鳥獣被害防止総合対策交付金と市の補助金により建設された施設でございます。また、国の交付金はジビエ未処理地域の整備が優先的に採択されるため、既に交付金が活用されている本市では、この財源が見込めないものと考えております。

現在、阿南ジビエ振興協議会が運営しているジビエ処理加工施設の稼働状況につきましては、処理能力が100頭であるのに対し、令和5年度における処理頭数は30頭でございました。この原因といたしましては、捕獲後の処理場への搬送に要する時間や、捕獲状況によってジビエとしての活用ができないこと、また、当初の想定より販路の確保に苦勞していることが主な原因と考えております。

同協議会では、阿南ジビエ処理衛生管理ガイドラインに基づき、食品としての衛生や品質を確保し、食肉販売に加え、新たな取り組みといたしま

して、ペット用シカ肉ジャーキーを開発し、今月４日に開催されました夕暮れマーケットにおきまして販売するなど、ジビエの利活用及び販売拡大に努めておりますが、依然、施設の処理能力にはまだまだ余力がある状態です。このため、まずは現施設の稼働状況の改善を図ることが最優先の課題であり、新たな施設の建設については、現時点では考えておりません。以上、お答えいたします。

平山委員長　橋本委員。

橋本　委員　ありがとうございます。

このジビエ処理加工施設っていうのは国費が９００万、市費が９００万という全額補助で建設されたことは、もう知る由ですけれども、建設について補助金もしっかりと出ております。今、ペットのジャーキーの生産をということで、少し、ちょっと明かりが見えてきたかなと思うんですけれども、ただ、１００頭の処理能力があるのにもかかわらず３０頭ということで、営業っていうんですか、そんなんにはまだまだほど遠いですよね。それには、いろんなかたちの中で決められたこと、販路の拡大、そういうようなことがきちっとできてたかどうかっていうことも、やっぱり考えていかなければいけないなと思ったんですね。

それで、少し、これまでの経緯を少し、ちょっと説明させていただきたいんです。っていうのは、私自身が、このジビエのことで質問しますと、何か誤解されてるんですよ。何かジビエとか猟友会をつぶすんちゃうかというふうな感じでいわれてまして、公開質問状まで出てくるんですよ。だから、そういうようなことも含めて、なぜこういうようなことで熱意を持ってやっているかってこと、ちょっと分かっていたきたいので説明させてください。

平成３０年の６月、県議会で平成３０年度中の施設整備の計画策定についての御質問を、今、こちらに座ってる市長さんの、岩佐議員さんが県議会のときに質問されて、その答弁がありました。それは平成３１年の２月につきまして、小松島市、阿南市の両市が、猟友会、県で処理加工施設整備についての検討を開始しますということだったんですね。これは何かというと、国からの９００万の補助金が凍結っていうんですかね、何かずっと塩漬けみたいになっとなったらしいんですよね。それを、なぜこういうようなことで置いとるんかっていうことの発覚だったというふうなかたちを聞いております。

で、平成３１年の４月、県ジビエ処理加工施設の整備指針を策定されました。そして令和元年の６月から県と小松島市と阿南市で構成する検討会を設置されました。令和元年の９月に、県議会で小松島市、阿南市での検討状況について仁木県議の答弁をされています。それは何かというと、令和２年の３月に、小松島市内に候補地が見当たらないことや、採算性、運営方法等について小松島市から懸念が示されて、小松島が撤退されたということによって、阿南市が単独で整備する方向で再検討がされたんですね。それが令和２年の５月です。

そして、そこで令和３年の３月に、国に阿南市加茂谷地区でのジビエ処理加工施設整備に係る予算を要望されました。そして、そこで、令和３年の４月に国の内示を受けまして、あなんジビエ振興協議会が設立されたわけですね。ここからのスタートなんです。このときに、私は会長に、若い

方が会長さんになりまして、若い、やる気のある会長さんが誕生されました。ジビエの試食会に、その方が開催されたので出席に、呼んでいただいたので行きましたら、何人かの議員さんも出席されました。そのときに、この会長さんの思いを伺ったことがあるんですね、伺いました。それは何かといいますと、「この加茂谷のジビエを全国発信して、必ず阿南の名産にしてみせたい」、そういうようなことをおっしゃったんで、すごく私は感動しまして、ぜひ頑張っていたきたい、私もエールを送りました。

こういうふうなことをこれからも世代の、さっき、ペットのジャーキーの生産をされたということなんですから、若い方たちの、世代のアイデアをぜひ取り入れていただきたいなど。それで、みんなが協力し合って進めていっていただきたいなというふうなことを、まず申し上げておきたいと思います。

でも、これまでの間に、いろんなかたちの中で協議会を設立されて、そして、この方に私は希望を持てたんですけれども、残念ながら令和3年9月にあなんジビエ振興協議会の会長が代わりました。何かがあったんだろうと思うんですけれども、それはいろいろ聞いております、私も。しかしながら、そういうようなことで会長が代わられた。その販路の資料っていうのもちゃんと持ってますけど、そういうようなことが全部引き継がれとんかどうかっていうことが、私は確認が取れませんでした。

担当課も含めて、きちっとそういうようなことを精査していく、そういうようなことが必要だったと思うんですね。これにはやっぱりジビエの、この、猟友会も含めてですけれども、補助金も出ておりますので、補助金制度もこれからしっかりと点検していかなければいけないなと思っております。

間違ってることとか疑問点があったら私は質問させていただきたいし、それがよかれと思って、阿南市のことに對してちゃんとできていくようなかたちを取りたいがための質問ですので、ぜひぜひ御協力いただいて、これからの、今、いろんなかたちが出てくると思うんです、これからも。だから、それで頑張っていたきたいなど。ぜひぜひ、阿南のほうの名産にさせていただきたいし、名をはせていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。以上です。

平山委員長 西川委員。

西川 委員 よろしく申し上げます。

以前の議会で、阿南駅周辺のまちづくりに関して、駐車場整備を検討しないかっていうことで質問させていただいておりました。ちょうど今、行革の重点政策、考えていかれるっていうこともありまして、市の未利用不動産である、ちょうどダイキの南側にある阿南の市有地、最近、使用中止の状況が続いておられると思うんですけど、民間にその未利用不動産を貸し出していかれて、使う予定があるのであれば賃料を取るとか、売却するとか、今後、使う見通しがもしなければ考えていただきたいな。もしくは、とりあえず有効活用、何らかの方法でできんかなってことでお願いします。

平山委員長 清原都市政策課長。

清原 課長 都市政策課の清原でございます。

御質問の市有地は、阿南市高速バス専用駐車場でございます。高速バス利用者等の利便を図るとともに、秩序ある駐車を促すことを目的とし、設置されたものですが、コロナ禍による利用者の低迷により、老朽化で使用不可となった精算機の更新に慎重な対応を取らざるを得なくなったことから使用を中止した経緯がございます。

現時点では阿南中央図書館（仮称）の整備事業に伴い、現在の市民会館駐車場を利用しております関係機関の公用車の代替駐車場として一時的に利用する方針とすることを検討しているところでございます。

新図書館整備後の当駐車場の活用方針につきましては、高速バスや新図書館利用者の駐車場ニーズなどの状況により、柔軟に対応してまいりたいと考えております。以上、お答えいたします。

平山委員長 西川委員。

西川 委員 また、その図書館を整備したりしていくにしても、結構、また年数もかかるのかなと思うところもあったりして、ほかに代替案の、市民会館のところの代替案の駐車場がもしあるんだったら、もう早いうちからあそこも使えるようにしていったほうが、土地的にもメリットがある場所なんだっただらと思うんですけど、また、そこらへんも、もう1回、ちょっと精査して検討していただけたらと思いますっていう要望でお願いします。

平山委員長 これで本委員会の所管に係る一般質問を終結いたします。
以上で本委員会を閉じることいたします。閉会に当たり市長から御挨拶をいただきます。岩佐市長。

岩佐 市長 本日は産業建設委員会を開催をさせていただきまして誠にありがとうございました。また、提案をさせていただきました案件につきましては、原案どおり御承認を賜り、厚く御礼を申し上げる次第でございます。審議の中でいただきました御意見、また御提言につきましては、今後の市政運営にしっかりと活かしてまいりたいと存じます。本日は誠にありがとうございました。

平山委員長 これもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉 会 10 : 42
